

大府 かわら版



市民活動センター 指定管理から市営へ

9月
議会

市直営化の経緯ただし議案に賛成

9月議会では市民活動センター「コラビア」に関する議案が出され可決しましたので報告します。

日本共産党
久永かずえ市議

現在の市民活動センター「コラビア」は、これまで民間が運営する「指定管理者制度」で行われてきましたが、令和8年度から大府市が運営することになります。また、大府市民活動センターと大府市社会福祉協議会の総合ボランティアセンターの機能が統合されます。市直営で運営していくことで、市民活動団体や自治区等と行政がこれまで以上の連携やマッチングを強化、地域課題や社会課題の解決を目指していくというものです。

この議案について久永市議は、概要以下の質疑を行いました。

指定管理者との協議は?

○久永議員：直営とした経緯について。直営に関する議論に「愛知ネット」は加わらず、大府市で決め報告を行ったのか？

▼協働推進課長：「愛知ネット」に関しては今回、指定管理の募集をしないという説明を事前に行った。今後、「愛知ネット」との引継ぎを行いたい。

○久永議員：この事業は大府市の協働のまちづくり推進条例に基づき「市民活動の場の提供」を目的に設置された市民活動センターの名称。森岡町4-8にあり、指定管理者制度のもと「愛知ネット」(下欄)が管理・運営にあたる。

コラビアとは？

●…大府市協働のまちづくり推進条例(平成18年)に基づき「市民活動の場の提供」を目的に設置された市民活動センターの名称。森岡町4-8にあり、指定管理者制度のもと「愛知ネット」(下欄)が管理・運営にあたる。

愛知ネットとは？

●…特定非営利法人。市民活動センター・コラビアの指定管理者として管理・運営を市から委任されている。

(大府市ホームページより)



久永議員：ボランティア機能を追加するというところで、社協とのみ分けはどのように行っていくのか？
↓この質問への答弁はありませんでした。総務委員長が、直接条例改正の議案と関連がなく詳細に

質問に答弁なし？

それぞれの存在意義を理解して尊重し合い、連携、協力、適切な関係を築く中でまちづくりを進めていくことが重要と条例にある。直営前に議論が必要ではなかつたか

▼市民協働部長：今回は、あくまで

市直営化のやり方自体を協働のまちづくりで進めていきたいと考えている。市直営化センターを指定管理すること自体が協働ということではなく、この運営のやり方自体を協働のまちづくりで進めていきたいと考えている。

○久永議員：直営について、利用団体や「愛知ネット」からはどうのような意見があつたか。

▼協働推進課長：「愛知ネット」には指定管理者の応募をしないと説明

○久永議員：今後「愛知ネット」との連携についてはどのように考えているか。

▼協働推進課長：今後の運営について、新年度予算でこれから検討していくため、はつきり決まっていない。

当然、協働のまちづくりというところでの、各NPO団体とも良好な関係を築いていきたいと考えている。

必要な体制強化は？

○久永議員：新たにボランティア機能が追加されるということになると、これまでよりもスタッフ増が必要、体制強化についてはどのように検討しているか。

▼市民協働部長：事業を検証した中で、スタッフの意向など、今後聞いていくことになるとを考えている。

久永市議は、以上のようないい。団体に関しては今後はないため、今現在、意見等は聴いていない。

今後の連携は？

久永市議は、以上のような質疑のあと、協働のまちづくりを進め推進条例に沿って16年間指定管理を行ってきた。「愛知ネット」とそのスタッフ、そして市民活動団体、市民それぞれを尊重し合つて、丁寧な説明等を行つてほしい。また、意見交換を大事にして移行の準備を進めて欲しい、と意見を添えて賛成しました。

ついては新年度予算に関わると繰り返しの答弁になる、という理由で市に答弁を求めなかつたためです。

相談はお気軽に 声かけください



生活相談

日常生活の困りごとについてご相談ください。

予約制で
弁護士が対応

法律相談

11月19日(水)午後6時～

お急ぎの方も、まずは久永議員へ

久永かずえ 携帯電話 090-1758-3521

◆おわびと訂正◆

本紙前号・上端の発行日付と号数に誤りがありました。おわびし訂正します。

【誤】 10月26日
No.1435

【正】 11月2日
No.1436